

令和4年9月9日

研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：アレルギー性気管支肺真菌症 第2回全国実態調査

本研究は藤田医科大学の倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

1. 研究の対象

2014年1月1日から2019年12月31日までの間に、藤田医科大学病院、藤田医科大学ばんだね病院を受診したアレルギー性気管支肺真菌症およびカビ（アスペルギルス）アレルギーのある喘息患者さんを対象としています。

2. 研究目的・方法・研究期間

アレルギー性気管支肺真菌症（ABPM）は、喘息患者さんの気管に付いたカビに対するアレルギーの病気で、再発を繰り返す例も多く治療の難しい病気です。ABPMに関する調査は、これまで環境や背景疾患の異なる海外でのものがほと

んどでしたが、2013 年度に本研究班（研究代表期間：東海大学）は本邦初の ABPM の疫学・診断・治療の実態調査を施行し、本邦における ABPM の臨床像がこれまでの海外からの報告と異なることを報告し、従来の ABPM の診断基準では診断困難な症例も多数存在することを確認しました。そこで本研究班は本邦の全国調査に基づき、従来の ABPM 診断基準より精度の高い新しい ABPM 診断基準を作成しました。この研究は、厚生労働科学研究費補助金に基づく難治性疾患等克服研究事業の一環として、全国のアレルギー性気管支肺真菌症（ABPM）およびカビ（アスペルギルス）アレルギーの喘息患者さんのデータを集計させていただくものです。本邦の実情を調査することを目的としています。

本研究では、診療記録から症状や経過、治療内容、血液・呼吸機能検査や胸部の画像検査（X 線・CT）のデータを収集します。

研究期間は、臨床研究審査委員会承認日から 2022 年 12 月 31 日までです。

3．研究に用いる試料・情報の種類

診療記録から得られた症状や経過、治療内容、血液・呼吸機能検査や胸部の画像検査（X 線・CT）のデータ

4 . 外部への試料・情報の提供

診療情報は当施設の研究担当者が匿名化し保管、管理し、特定の関係者以外がアクセスできない状態で研究代表機関である東海大学医学部附属病院へ送付されます。

5 . 研究組織

本学の研究責任者：藤田医科大学 呼吸器内科学 講座 講師 桑原和伸

研究代表者：東海大学医学部附属病院 呼吸器内科 教授 浅野 浩一郎

共同研究機関：

研究分担施設	研究責任者
北海道大学病院	木村 孔一
慶應義塾大学病院	正木 克宜
国立病院機構相模原病院	渡井 健太郎
埼玉県立循環器・呼吸器病センター	石黒 卓
国立病院機構東京病院	鈴木 純子 他計 161 施設

6 . 除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

藤田医科大学 呼吸器内科 講座

担当者：桑原和伸

〒454-8509 愛知県名古屋市中川区尾頭橋三丁目 6 番 10 号

電話：052-323-5675

